ﾌﾘｶﾞﾅ ご氏名	アン　ドンヒョク 安　東赫
企業・団体名	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
所属 （企業・団体の）	野菜花き研究部門 野菜生産システム研究領域
役職	施設生産ユニット長

ご略歴	韓国済州道出身。大阪府立大学大学院博士課程修了。農学博士。 その後、茨城県農業総合センター園芸研究所研究員、千葉大学の研究教員を経て、2009 年から農研機構に在職。
専門および 得意な分野・研究	専門は園芸学。主に野菜の栽培生理に基づき、養液栽培・環境制御など施設栽培における多収・生産性向上技術開発研究に従事している。近年は施設野菜の生育・収量予測技術や UECS を含む環境制御技術など、施設野菜の生産性向上技術開発に取り組んでいる。
セミナータイトル	収量予測技術を活用した施設栽培の高生産性
セミナー概要	ICT、センシングおよび環境制御技術が進歩しており、収量や生産効率を飛躍的に向上できるスマート農業への期待が高まっているが、実際の生産現場ではデータ収集および活用については進んでない状況である。そこで本セミナーでは、果菜類の施設栽培において物質生産の観点から適切な環境制御や栽培管理を考えると同時に、収量予測技術について紹介し，スマートグリーンハウスにおけるデータおよび植物生理に基づいた賢い栽培技術について紹介する。
ご講演中のキーワード	スマート農業、施設栽培、収量予測、環境制御、収量構成要素
本セミナーで 習得できること	・高生産性のための環境制御方法を習得できる ・施設生産におけるデータの収集・解析の重要性を理解できる ・収量や生育状況の定量的な解析判断の重要性を理解できる ・栽培生理に基づいた多収のメカニズムが理解できる